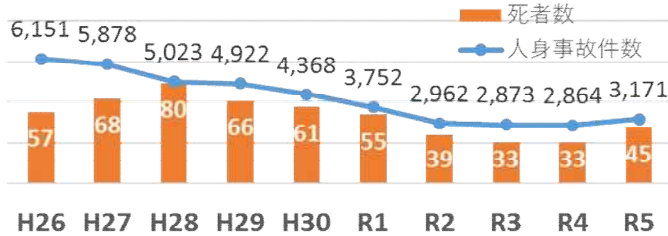


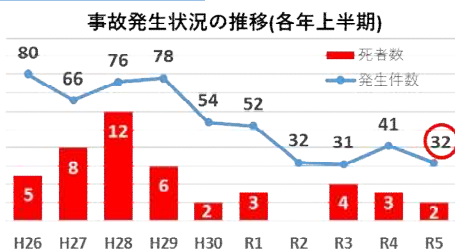
1 交通事故発生件数及び死者数の推移（各年上半期）



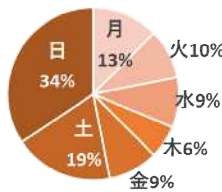
- 平成 29 年以降、発生件数及び死者ともに減少傾向であったが、本年はいずれも増加
- 本年の人身事故発生件数は 3,171 件で昨年に比べ 307 件増加し、死者数は 45 人で昨年に比べ 12 人増加

2 交通事故の特徴

① 飲酒事故

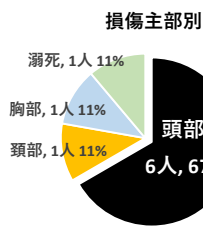
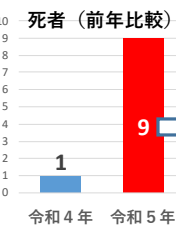


曜日別



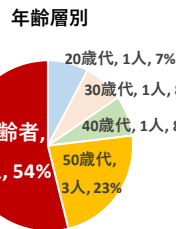
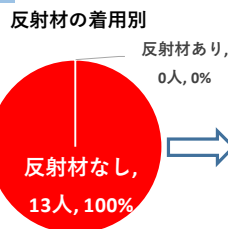
- 本年の飲酒運転による事故は 32 件で、昨年より 9 件減少した。
- 本年の事故発生状況を曜日別にみると、土日で半数を超える。

② 自転車死亡事故



- 本年の自転車乗用中の死者は 9 人で、昨年より 8 人増加
- 死者 9 人の損傷主部をみると、頭部が 6 人で 67% を占める。
- 頭部が致命傷となった 6 人は全てヘルメットの着用なし。

③ 歩行者死亡事故



- 本年の自動車対歩行者事故の死者は、13 人で全て夜間に発生
- 死者 13 人全てが反射材の着用なし。
- 年齢層をみると、高齢者が 7 人と 54% を占める。

3 交通事故防止のポイント

- 夏場は、暑さによる睡眠不足や疲労の蓄積により漫然運転や居眠り運転による事故が増加します。眠気、疲労を感じる前に早めの休憩を取り、緊張感を持って運転しましょう。
- 飲酒運転は重大事故に直結します。交通ルールを守り、安全運転に努めましょう。
- 自転車乗用中の事故は頭部損傷が重大な被害につながります。大人も子どももヘルメットを着用しましょう。
- 夕暮れ時や夜間に徒歩で外出する際は、反射材を身につけ、夜間視認性の高い白系の服を着るなど、車の運転者に自分の存在を知らせる工夫をしましょう。